



2026年1月9日

(前年同月比：％)			2025年							2026年						通期	
			7月	8月	9月	10月	11月	12月	上期	1月	2月	3月	4月	5月	6月		下期
トライアル	既存店	売上高	101.4	98.3	99.8	101.7	105.5	99.8	101.0								101.0
		客数	97.5	94.6	95.6	97.8	100.0	97.6	97.1								97.1
		客単価	104.1	103.9	104.5	104.1	105.5	102.3	104.0								104.0
	全店	売上高	111.9	108.1	109.1	110.1	113.7	107.7	110.0								110.0
		新規出店数	5	1	1	1	5	5	18								18
		業態転換による店舗数の増加 (西友⇒トライアル西友)	0	0	0	0	1	0	1								1
		閉店店舗数	0	0	1	0	1	1	3								3
		全店舗数	357	358	358	359	364	368	368								368
西友	全店	新規出店数	0	0	0	0	1	0	1								1
		閉店店舗数	0	0	1	0	1	0	2								2
		業態転換による店舗数の減少 (西友⇒トライアル西友)	0	0	0	0	1	0	1								1
		全店舗数	245	245	244	244	243	243	243								243

(環境) 当月は、暖冬傾向でした。中旬に気温が前年を大きく上回る暖かい日が続いたことで、冬物季節商品が軟調でした。
また、前年12月にあったポイントアップイベント「周年祭」1日分(日曜日)が当年12月にはありませんでした(前年は11月27日から12月1日、当年は11月25日から30日に開催)。
この影響(日曜日が1日少なかった影響も含む)が、既存店売上高を1.6ポイント押し下げました。
一方、年末商戦の月末7日間における既存店売上高は前年同期間と比較して104.9%と強い成長を記録しました。

(商品) 年末年始のハレの日需要を捉え、惣菜を中心とした食品が好調でした。食品は、グロスアリーはバックごはんやお餅が売上に寄与したほか、デイリーは玉子やヨーグルトが伸長しました。
フレッシュは、青果はお米やほうれん草、さつまいもが売上に貢献しました。鮮魚は寿司の盛り合わせやPB商品のシュリンプカクテル、精肉はすき焼き・しゃぶしゃぶ用の牛肉や骨付き鶏肉、豚こま切れ肉がお客様の支持を得ました。惣菜は名物「ロースかつ重」などの丼物や餃子・点心、店内調理のピザ(ベリカ)、クリスマス用チキンセットなどがイベント需要を捉えました。
非食品は、暖冬の影響を受け、カイロや暖房器具、機能的インナーなどの冬物季節商品が、前年の売上ハードルの高い医薬品とともに苦戦した一方、食玩などのおもちゃが好調でした。

(店舗) ・12月度の新規出店：5店 メガセンター：東松山店(埼玉県) スーパーセンター：佐々店(長崎県) TRIAL GO：笹塚駅西店(東京都)、中野中央5丁目店(東京都)、小笹4丁目店(福岡県)
・12月度の閉店：1店 smart：高崎中泉店(群馬県) ・改装リニューアルオープン：0店

※ 売上高の前年同月比はPOSデータに基づいた速報値であり、決算数値と異なる可能性があります。

※ 概況コメント欄の天候は、トライアルの店舗が多く所在する福岡県を中心に記載しております。

※ 「グロスアリー」は菓子類などの加工食品、「デイリー」は卵や乳製品などの日配品、「フレッシュ」は生鮮四品(青果・精肉・鮮魚・惣菜)、「生活」は日用消耗品などの家庭用品、「ハード」は家電製品などの耐久性商品、「アパレル」は衣料品を示しております。

※ 西友の既存店及び全店売上高の前年同月比は、2026年7月度(2027年6月期)から開示予定です。

※ 「トライアル西友」は、西友の店舗からトライアルの店舗への業態転換(トライアル店舗の増加、西友店舗の減少)となります。トライアルグループの合計店舗数に増減はありません。